



2月も地域の方にお世話になっています

ついこの間、年が明けたような気がしますが、気が付けば2月も半ばとなりました。「2月は、逃げ（にげ）月」と言われますが、本当にそのとおりです。日が経つのが本当に速く感じられます。

少し前のことですが、2月1日（木）に1年生が、伝承遊び交流会を行いました。菊野連合自治会長を始め、多くの方が西坂小に足を運んでくださいました。下の写真はその時の様子を写したものです。



あやとりの様子



けん玉の様子



竹とんぼの様子

けん玉や竹とんぼ、コマ回し、お手玉、あやとり。確かに私が子どもの頃は、これらを使ってよく遊んでいたのですが、最近は、こうしたもので遊ぶことも少なくなってきました。なかなかうまくいかず、苦労している子も多かったのですが、地域の方に教えていただきながら、楽しそうに遊んでいました。

最近の子どもたちは、ゲーム機で遊ぶことが多いようです。さて、子どもたちが大きくなったとき、どういう遊びを「伝承遊び」として紹介するのでしょうか。

校長室の窓から

～還暦を迎えて～

気が付けば、還暦の歳となり、2月初旬に、本校職員に祝いの会を開いてもらいました。60歳になったからといって、これといった心境の変化はないのですが、確実に、人生のゴールに近づいているので、一日一日を大切にしなければならないなという思いが強くなりました。

私は、学生時代に合気道をしていたのですが、私の流派の先生が、ある演武会のときに、「私は、今が一番強い」という話をされていました。当時70歳を越えていたので、体力的な衰えは当然あったと思いますが、「今が一番強い」と思えるほど、心技体が充実していたのだろうと思います。

教師生活38年、「今が、教え方が一番うまい」と自信をもって言えないのは恥ずかしい限りですが、少しでもその心境に近づけるよう、残された時間はあまり多くはないのですが、頑張っていきたいと思います。